

**平成13年度 第2回
発注企業動向調査
結果報告書**

**平成13年11月
財団法人京都産業21**

調査結果の概要

売上げについて

売上状況について

「減少」とする企業が「増加」とする企業を大幅に上回っている。「悪化」とする企業が57.6%で前回調査に比べると33.6ポイント増加しており、かなり急激な落ち込みとなっている。

今後の売上額の見通しについて

本年度下期においては、「減少」とする企業が「増加」とする企業を上回っており、来年度上期には、さらに「増加」が減って、「横ばい」が増えると見ている。先行き予想されるアメリカの景気後退の影響などさらに悪化することが懸念される。

外注について

外注利用状況について

「増加」とする企業が13.0%で前回調査と比較して17.8ポイント減少し、「減少」とする企業が58.7%で前回調査と比較して35.6ポイント増えており、「減少」とする企業が「増加」とする企業を大幅に上回っている。

今後の外注見通しについて

本年度下期の見通しは、「減少」が「増加」を27.2ポイント上回っている。来年度上期についても同様の見通しであるが、「不明」とする企業が1割近くあり、予測困難な一面も窺われる。

年間の総外注費及び京都府内の割合について

外注金額の合計は6,511億5,780万円となり、そのうち京都府内の企業には23.1%の1,501億1,866万円が発注されており、この割合は、前回調査が23.5%、前々回調査が24.5%で大きな変化は見られない。

外注企業に望む能力について（品質）

「要求どおりの加工精度」との回答が 24.7%と最も多く、次いで「バラツキの無い品質安定度」が 17.7%、「検査体制の強化」が 16.2%、「工程管理の強化」が 14.0%、「VE/V A提案も含めた体質強化」となっている。

発注企業は、外注企業に対して精度の確保と品質の安定を強く求めており、検査体制、工程管理の強化が、受注確保のための大きな課題となっているようである。

外注企業に望む能力について（コスト）

「市場価格への対応」との回答が 22.4%と最も多く、次いで「VE/V A提案によるコスト提案」が 19.3%、「発注内容に応じたコスト対応」が 18.0%となっている。市場価格が低下する中で、発注企業のコスト意識がさらに厳しくなり、今後さらに外注企業には厳しいコスト対応が要求されるものと予想される。

外注企業に望む能力について（納期）

「状況に応じた柔軟な納期対応」が 42.8%と最も高く、次いで「ジャストインタイムへの対応」が 30.9%、「納期管理、在庫管理能力」が 22.4%となっている。外注企業に対して、コストアップすることなく、小回りを効かせた、フレキシブルな納期対応が求められているようである。

新規外注先企業の情報収集について

「下請企業からの営業活動」との回答が 34.8%と最も多く、次いで「情報誌、企業名簿等からの情報収集」が 18.0%となっている。

現状では、外注企業自身の積極的な営業活動の重要性を示す結果となっており、受注企業の積極的な情報発信（企業名簿等への掲載、各種展示会への出展を含む）が重要であることがうかがえる。

新規外注先企業の開拓について

新規外注先を、「探していない」とする企業が「探している」とする企業より 55.5 ポイント上回っており、この傾向は輸送用機器を除く全業種に共通している。しかし「将来的に探している」とする企業を合わせると全体で 30%程度の企業が新規外注先を探しており、受注企業にとって発注企業のニーズを的確に把握した積極的な取引先開拓が求められる。

1. 調査概要について

(1) 調査目的 財団に登録する発注企業の動向を把握し、情報として提供することで、府内の下請企業の経営計画策定の一助とするとともに、より効果的な受注活動等の促進を図り、併せて財団における取あわせ業務の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業 財団に登録する機械金属関連発注企業 142社

(3) 調査時期 平成13年9月末現在 *調査回収締切：10月末

(4) 調査回収企業 92社(回収率：67.8%)

内訳 金属製品 16社(17.4%) 一般機器 28社(30.4%) 電気機器 21社(22.8%)
 輸送用機器 12社(13.1%) 精密機器 15社(16.3%)

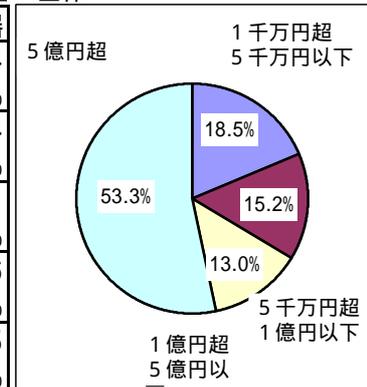
【業種別資本金別回収企業数】

上段：企業数、下段：比率

	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
1千万円超	17	4	7	1	1	4
5千万円以下	18.5%	25.0%	25.0%	4.8%	8.3%	26.7%
5千万円超	14	1	4	4	1	4
1億円以下	15.2%	6.3%	14.3%	19.0%	8.3%	26.7%
1億円超	12	2	7	1	1	1
5億円以下	13.0%	12.5%	25.0%	4.8%	8.3%	6.7%
5億円超	49	9	10	15	9	6
	53.3%	56.3%	35.7%	71.4%	75.0%	40.0%
合計	92	16	28	21	12	15
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【業種別資本金別回収企業数】

全体



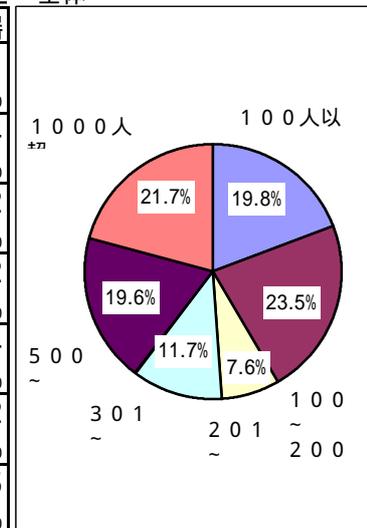
【業種別従業員別回収企業数】

上段：企業数、下段：比率

	全体	金属製品	一般機械	電気機器	輸送用機器	精密機器
1000人以上	18	6	9	1	1	1
	19.8%	37.5%	32.1%	4.8%	8.3%	6.7%
101~200人	21	2	9	4	2	4
	23.5%	12.5%	32.1%	19.0%	16.7%	26.7%
201~300人	7	1	2	1	1	2
	7.6%	6.3%	7.1%	4.8%	8.3%	13.3%
301~500人	8	2	2	1	1	2
	11.7%	12.5%	7.1%	4.8%	8.3%	13.3%
501~1000人	18	3	2	4	5	4
	19.6%	18.8%	7.1%	19.0%	41.7%	26.7%
1000人以上	20	2	4	10	2	2
	21.7%	12.5%	14.3%	47.6%	16.7%	13.3%
合計	92	16	28	21	12	15
	103.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【業種別従業員別回収企業数】

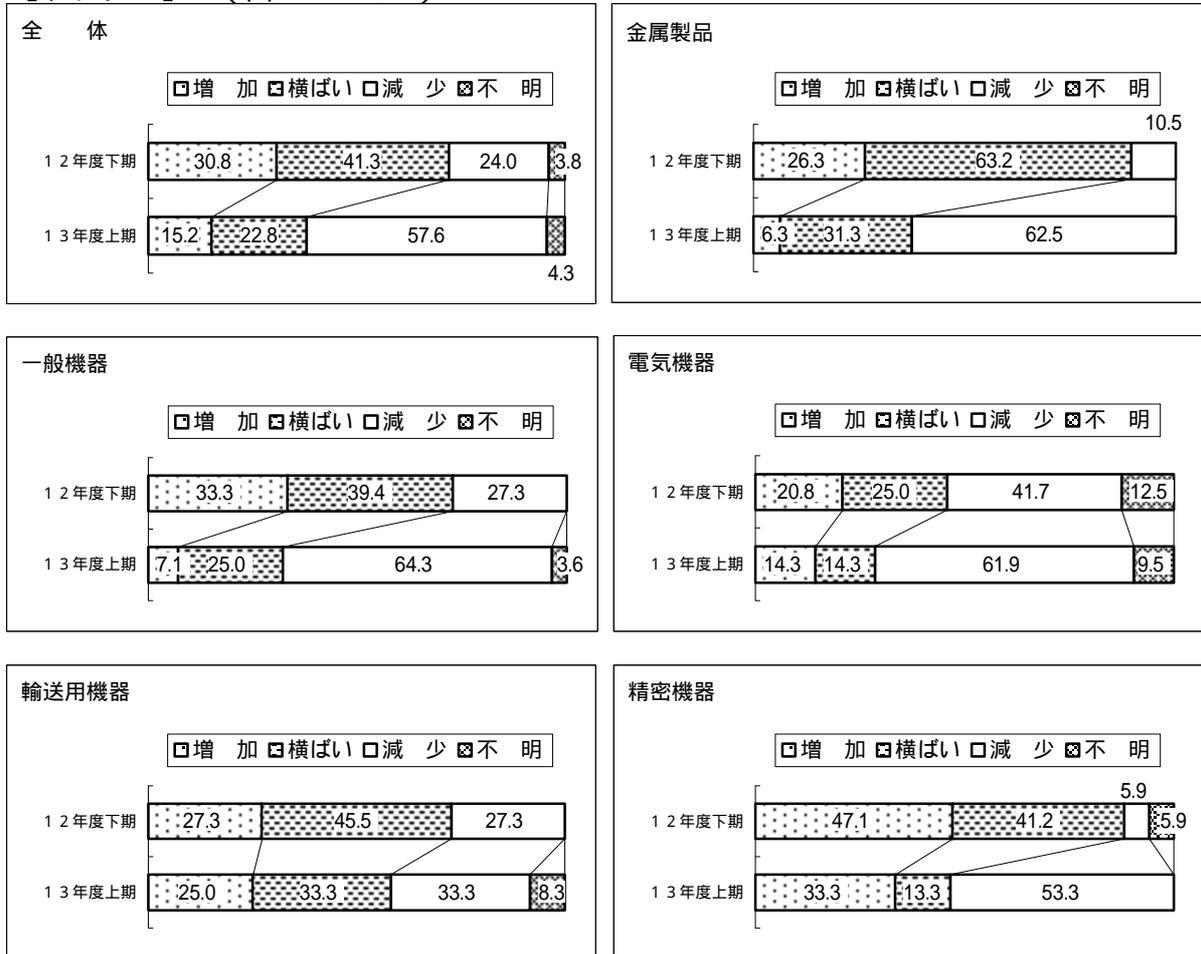
全体



2. 売上について

(1) 13年度の「上期」(13.04~13.09)と12年度の「下期」(12.10~13.03)の売上額の比

【グラフ1】 (回 92)



*業種別回答数

13年度上期	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	14	1	2	3	3	5
横ばい	21	5	7	3	4	2
減少	53	10	18	13	4	8
不明	4		1	2	1	
合計	92	16	28	21	12	15

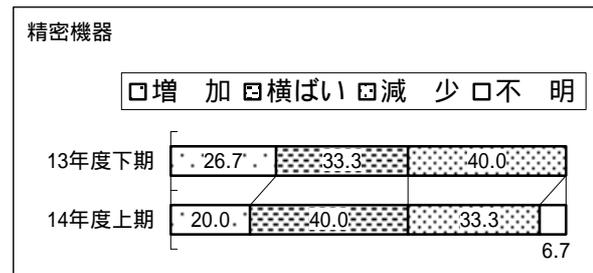
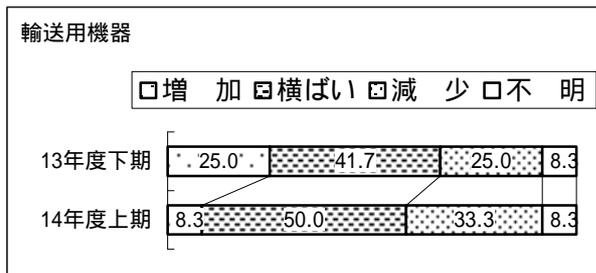
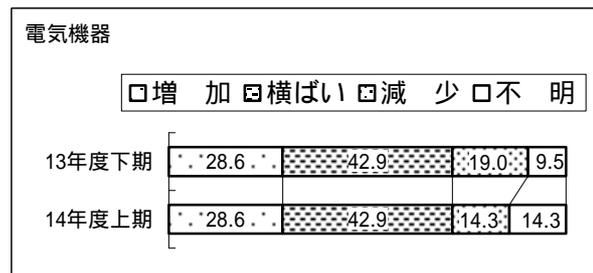
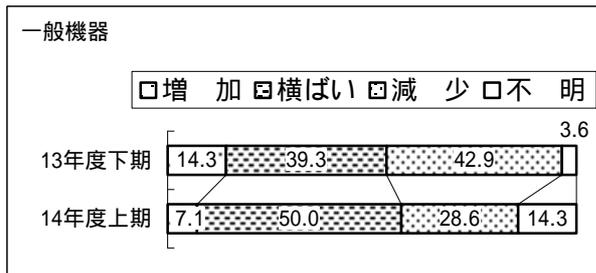
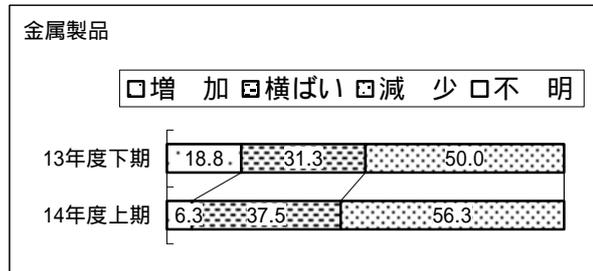
【売上額の比較について】

・全体では、「減少」とする企業が「増加」とする企業を大幅に上回っている。「悪化」とする企業が57.6%で前回調査に比べると33.6ポイント増加しており、かなり急激な落ち込みとなっている。

・業種別では、金属製品、一般機器、電気機器では6割以上が「減少」としており、厳しい状況となっている。

(2) 13年度「下期」(13.10～14.03)及び14年度「上期」(14.04～14.09)の売上額の見通し

【グラフ2】 (回 92)



* 業種別回答数

13年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	20	3	4	6	3	4
横ばい	35	5	11	9	5	5
減 少	33	8	12	4	3	6
不 明	4	0	1	2	1	0
合計	92	16	28	21	12	15

* 業種別回答数

14年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	13	1	2	6	1	3
横ばい	41	6	14	9	6	6
減 少	29	9	8	3	4	5
不 明	9	0	4	3	1	1
合計	92	16	28	21	12	15

【売上額の見通しについて】

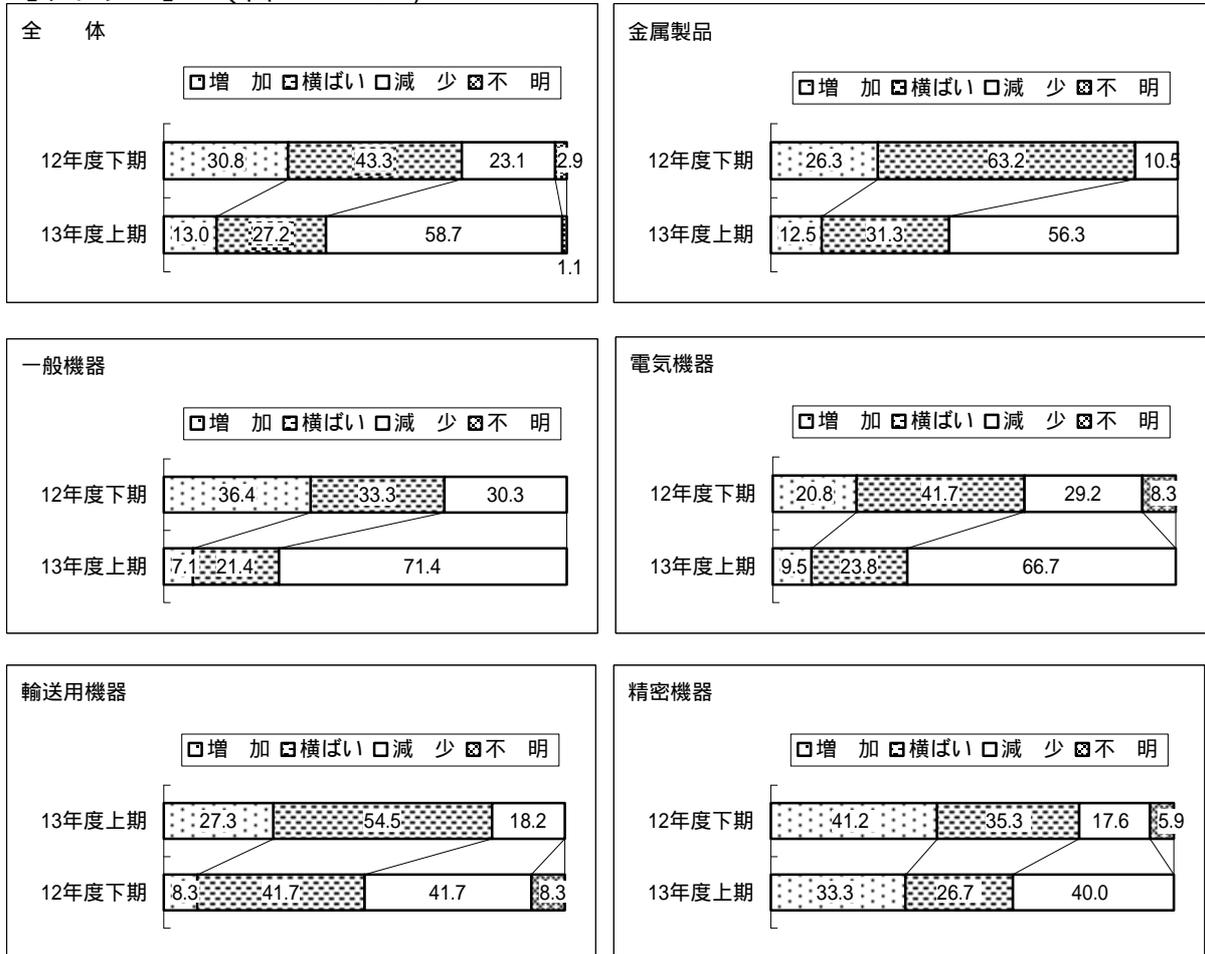
・全体では、本年度下期においては、「減少」とする企業が「増加」とする企業を上回っており、来年度上期には、さらに「増加」が減って、「横ばい」が増えるとしている。先行き予想されるアメリカの景気後退の影響などさらに悪化することが懸念される。

・業種別では、金属製品、輸送用機器が減少傾向を示しているが、その他の業種は、横ばい傾向を示している。

3. 外注について

(1) 13年度の「上期」(13.04~13.09)と12年度の「下期」(12.10~13.03)の外注額

【グラフ3】 (回 92)



* 業種別回答数

	13年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加		12	2	2	2	1	5
横ばい		25	5	6	5	5	4
減少		54	9	20	14	5	6
不明		1	0	0	0	1	0
合計		92	16	28	21	12	15

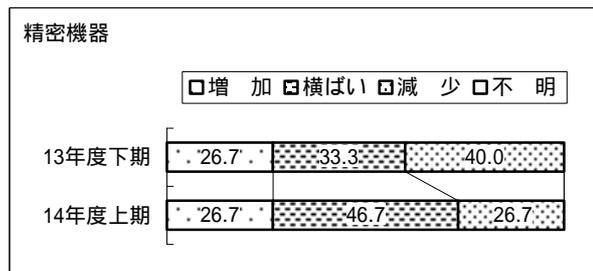
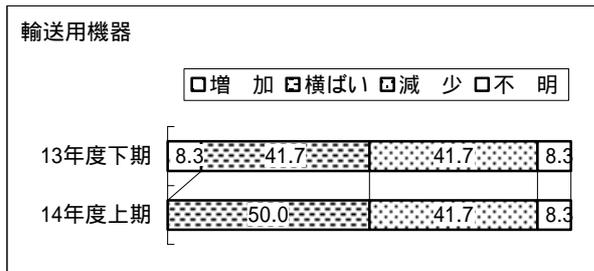
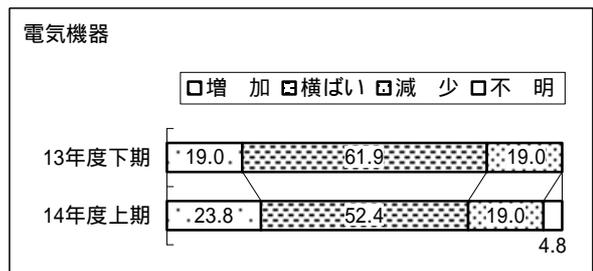
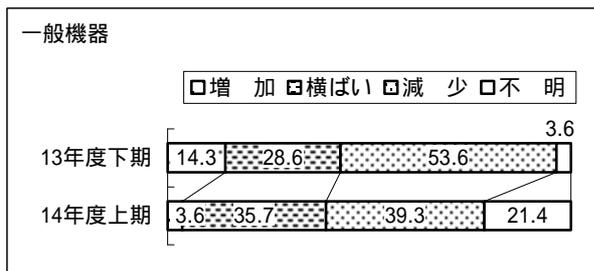
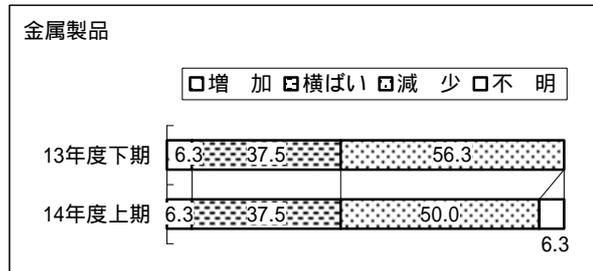
【外注額の比較について】

・全体では、「増加」とする企業が13.0%で前回調査と比較して17.8ポイント減少し、「減少」とする企業が58.7%で前回調査と比較して35.6ポイント増えており、「減少」とする企業が「増加」とする企業を大幅に上回っている。

・業種別に見ると、全業種で「減少」とする企業が「増加」とする企業を上回っており、とりわけ、電気機器では6割以上、一般機器では7割以上が「減少」としており、外注企業にとって先行き厳しい見通しとなっている。

(2) 13年度の「下期」(13.10～14.03)及び14年度上期」(14.04～14.09)の外注額の見通し

【グラフ4】 (回 92)



* 業種別回答数

13年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	14	1	4	4	1	4
横ばい	37	6	8	13	5	5
減少	39	9	15	4	5	6
不明	2	0	1	0	1	0
合計	92	16	28	21	12	15

* 業種別回答数

14年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増加	11	1	1	5	0	4
横ばい	40	6	10	11	6	7
減少	32	8	11	4	5	4
不明	9	1	6	1	1	0
合計	92	16	28	21	12	15

【外注額の見通しについて】

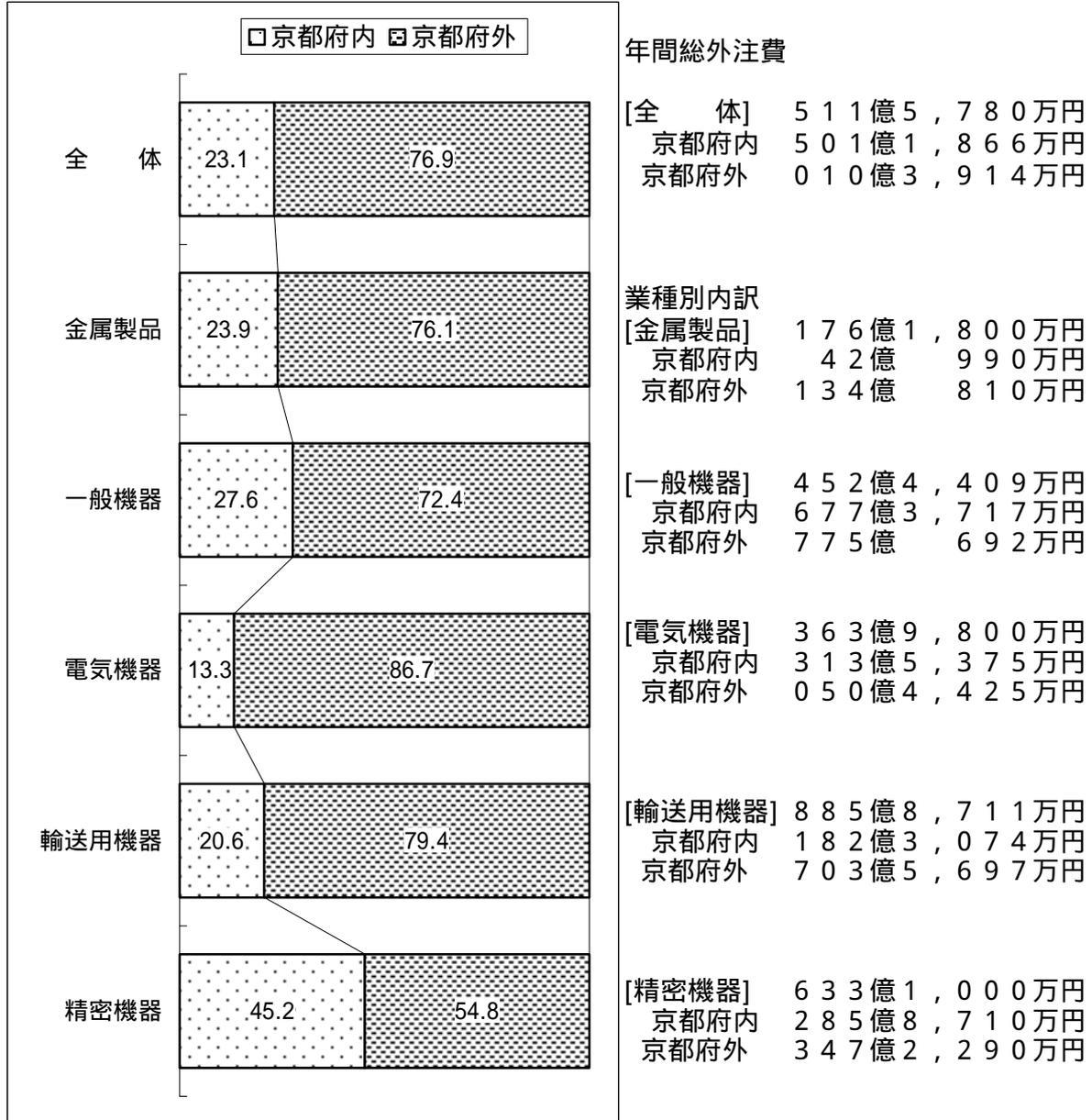
・全体では、本年度下期の見通しは、「減少」が「増加」を27.2ポイント上回っている。来年度上期についても同様の見通しであるが、「不明」とする企業が1割近くあり、予測困難な一面も窺われる。

・業種別に見ると、一般機器、輸送用機器で今後減少傾向が続くと見られているが、その他の業種では、来年度以降、若干ながら回復傾向をうかがわせる見通しとなっている。

(3) 13年度の総外注費及び京都府内の企業の割合について

* 本調査については未回答企業もあるため、調査結果は参考値とする。

【グラフ5】



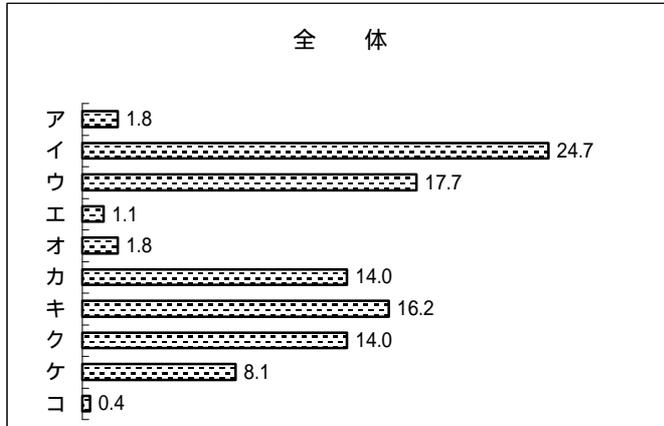
【年間の総外注費及び京都府内の割合について】

全体で、外注金額の合計は6,511億5,780万円となり、そのうち京都府内の企業には23.1%の1,501億1,866万円が発注されており、この割合は、前回調査が23.5%、前々回調査が24.5%で大きな変化は見られない。

業種的にも、電機機器で府内企業への発注割合が低く、精密機器で高い傾向も変化は見られない。

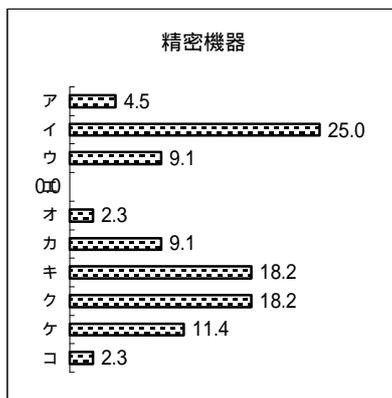
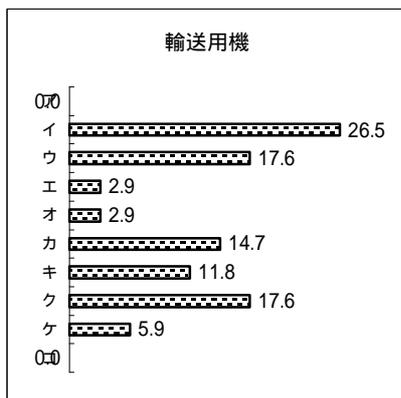
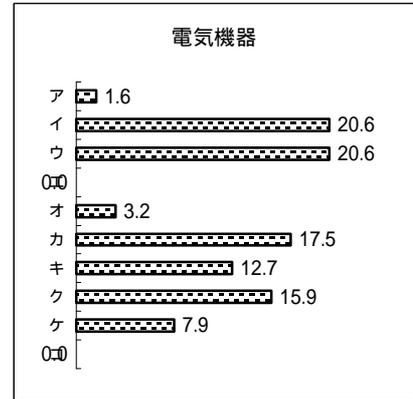
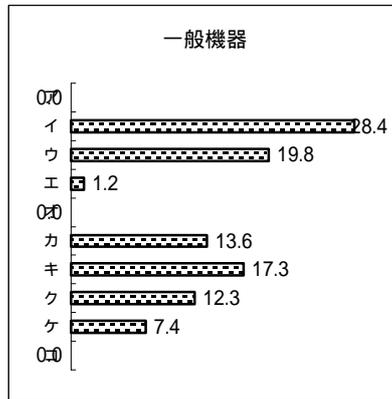
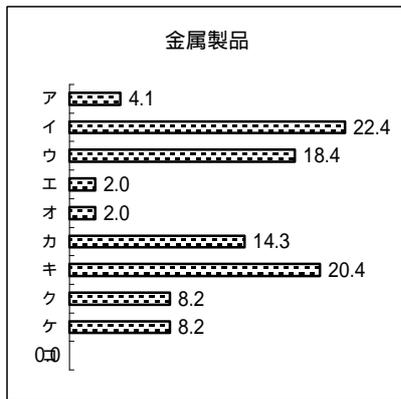
(4) 外注企業に望む能力について < 品質 >

品質について外注企業に望むこと
【グラフ6】



* 重複回答 (回計数 271)

グラフの項目	回答数
ア．要求以上の加工精度	5
イ．要求どおりの加工精度	67
ウ．バラツキの無い品質安定度	48
エ．新鋭設備の導入	3
オ．職人 (技術者) の育成	5
カ．工程管理の強化	38
キ．検査体制の強化	44
ク．V E / V A 提案も含めた体制	38
ケ．I S O などの要求	22
コ．その他	1



* 業種別回答数

機械製品	49
一般機器	81
電気機器	63
輸送用機器	34
精密機器	44
計	271

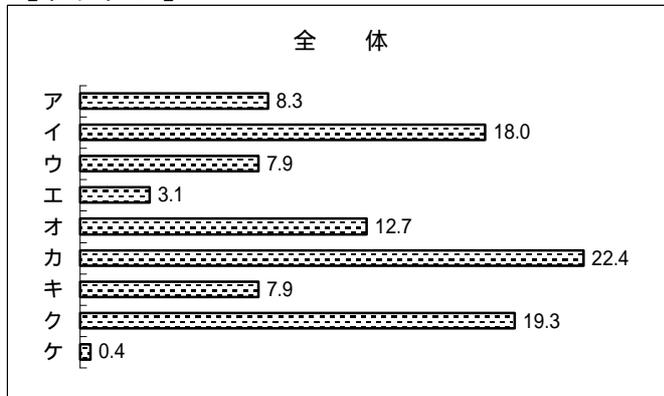
【品質について】

「要求どおりの加工精度」との回答が24.7%と最も多く、次いで「バラツキの無い品質安定度」が17.7%、「検査体制の強化」が16.2%、「工程管理の強化」が14.0%、「V E / V A 提案も含めた体制強化」となっている。

発注企業は、外注企業に対して精度の確保と品質の安定を強く求めており、検査体制、工程管理の強化が、受注確保のための大きな課題となっているようである。

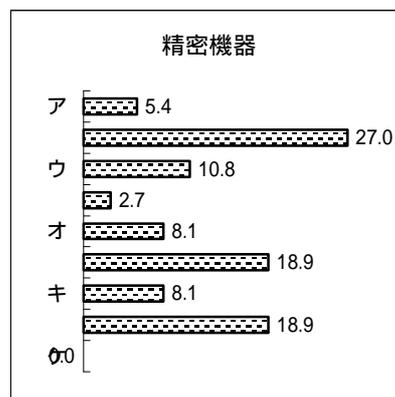
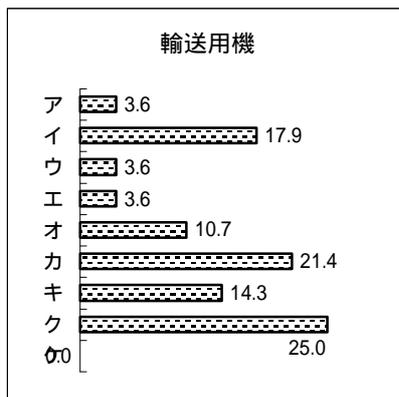
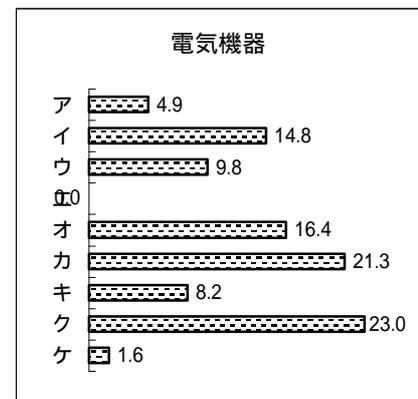
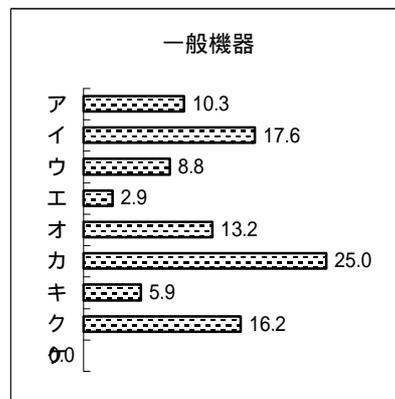
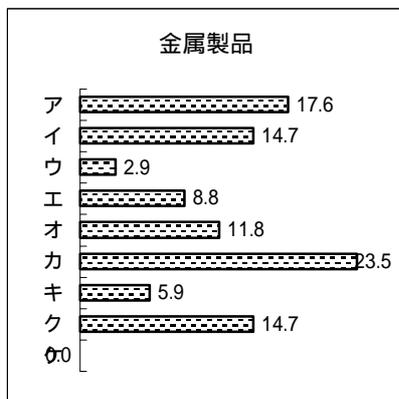
(5) 外注企業に望む能力について<コスト>

コストについて外注企業に望むこと
【グラフ7】



* 重複回答 (回答数 228)

グラフの項目	回答数
ア．要求以上の低コスト対応	19
イ．発注内容に応じたコスト対応	41
ウ．適正な見積書作成能力	18
エ．新鋭設備の導入によるコストダ	7
オ．工程管理の強化によるコストダ	29
カ．市場価格への対応	51
キ．海外調達、進出等による低コスト	18
ク．VE/V A提案によるコスト	44
ケ．その他	1



* 業種別回答数

機械製品	34
一般機器	68
電気機器	61
輸送用機器	28
精密機器	37
計	228

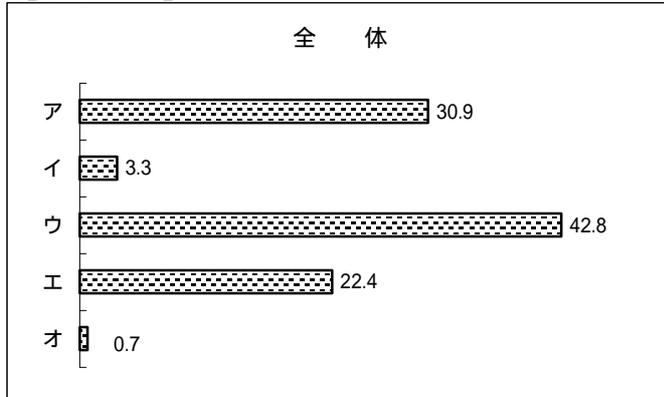
【コストについて】

「市場価格への対応」との回答が22.4%と最も多く、次いで「VE/V A提案によるコスト提案」が19.3%、「発注内容に応じたコスト対応」が18.0%となっている。

市場価格が低下する中で、発注企業のコスト意識がさらに厳しくなり、今後さらに外注企業には厳しいコスト対応が要求されるものと予想される。

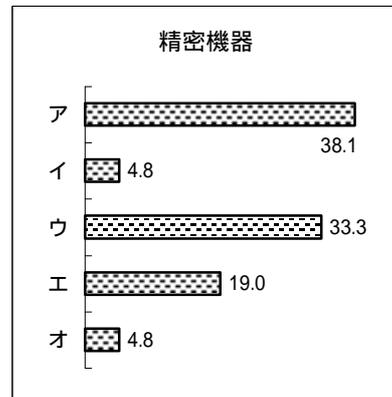
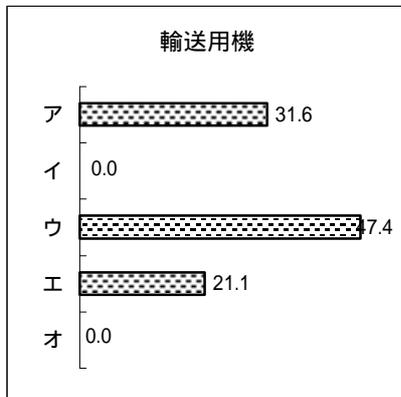
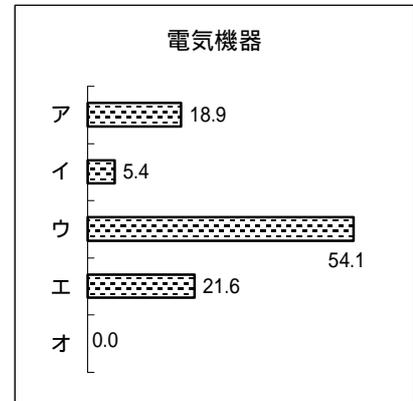
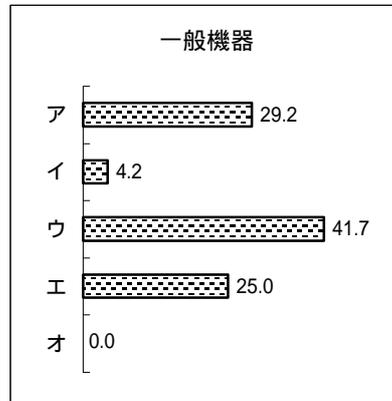
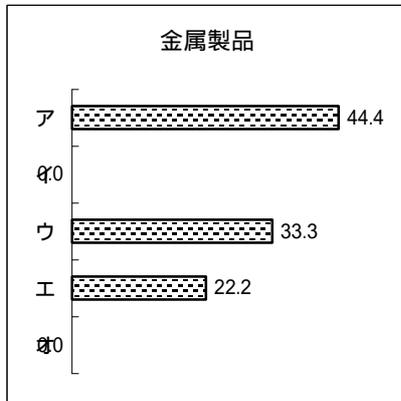
(5) 外注企業に望む能力について < 納期 >

納期について外注企業に望むこと
【グラフ 8】



* 重複回答 (回答数 152)

グラフの項目	回答数
ア．ジャストイン・タイムへの対応	47
イ．在庫保有等による対応	5
ウ．状況に応じた柔軟な納期対応	65
エ．納期管理、在庫管理能力の強化	34
オ．その他	1



* 業種別回答数

機械製品	27
一般機器	48
電気機器	37
輸送用機器	19
精密機器	21
計	152

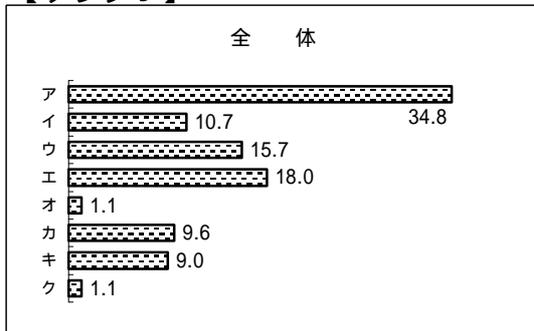
【納期について】

「状況に応じた柔軟な納期対応」が42.8%と最も高く、次いで「ジャストインタイムへの対応」が30.9%、「納期管理、在庫管理能力」が22.4%となっている。

外注企業に対して、コストアップすることなく、小回りを効かせた、フレキシブルな納期対応が求められているようである。

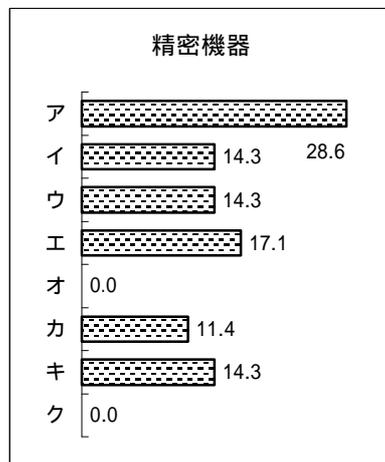
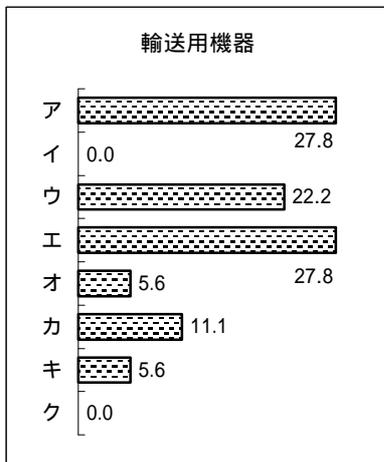
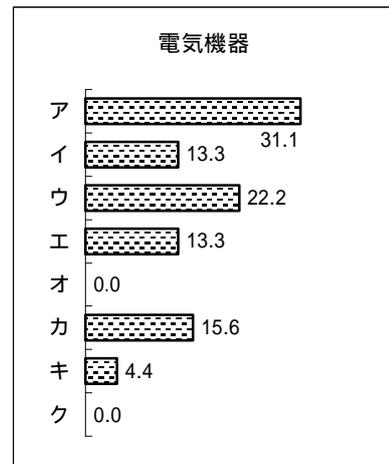
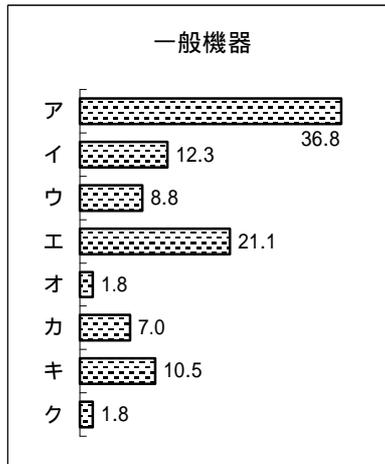
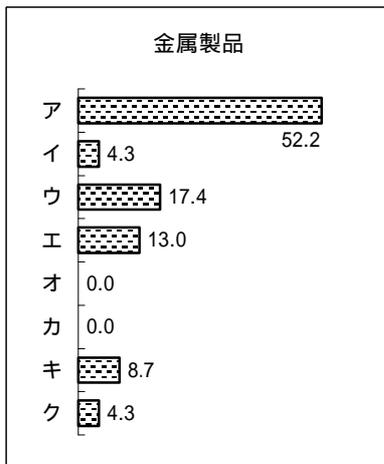
(6) 新規外注先企業を探す場合の情報収集の方法について

【グラフ 9】



* 重複回答 (回答数 178)

グラフの項目	回答数
ア．下請企業からの営業活動	62
イ．財団（協会）からのあっせん	19
ウ．テクノフェア等の各種展示会見学	28
エ．情報誌、企業名簿等からの情報収集	32
オ．説明会を開催し、資材調達情報を公開	2
カ．インターネットホームページで資材調達先を公募	17
キ．財団（協会）開催による商談会への参加	16
ク．その他	2



* 業種別回答数

機械製品	23
一般機器	57
電気機器	45
輸送用機器	18
精密機器	35
計	178

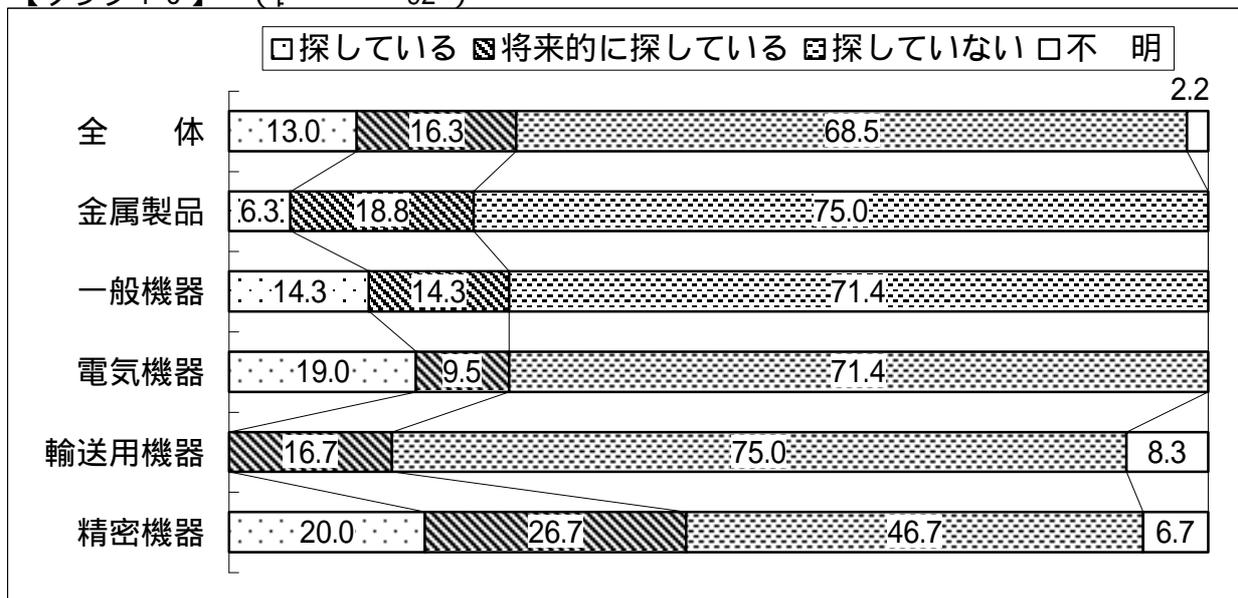
【新規外注先企業の情報収集について】

「下請企業からの営業活動」との回答が34.8%と最も多く、次いで「情報誌、企業名簿等からの情報収集」が18.0%となっている。

現状では、外注企業自身の積極的な営業活動の重要性を示す結果となっており、受注企業の積極的な情報発信（企業名簿等への掲載、各種展示会への出展を含む）が重要であることがうかがえる。また、「財団（協会）からのあっせん」、「財団（協会）開催による商談会への参加」を含めると2割近く占めており、財団事業についても情報収集の手段として活用されていることがうかがえる。

(7) 新規外注先企業の開拓について

【グラフ10】 (1992)



* 業種別回答数

	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
探している	12	1	4	4	0	3
将来的に探している	15	3	4	2	2	4
探していない	63	12	20	15	9	7
不明	2	0	0	0	1	1
合計	92	16	28	21	12	15

【新規外注先企業の開拓について】

・全体では、新規外注先を、「探していない」とする企業が「探している」とする企業より55.5ポイント上回っており、この傾向は輸送用機器を除く全業種に共通している。しかし「将来的に探している」とする企業を合わせると全体で30%程度の企業が新規外注先を探しており、受注企業にとって発注企業のニーズを的確に把握した積極的な取引先開拓が求められる。

別紙 平成13年度 発注企業動向調査票（第2回）【機械金属関係】

企業名			資本金	万円
所在地			従業員数	名
T E L		記入者職氏名		
F A X		E-mail		
年間売上		主要製品		

以下の設問について、該当するところに 印を付けていただくとともに、必要事項をご記入ください。

1. 売上についての状況及び今後の見通しについてお聞かせください。

(1) 13年度の「上期」(13.04~13.09)と12年度の「下期」(12.10~13.03)の売上額を比較すると、

<対前期比>	増加(約 %)	横ばい	減少(約 %)
--------	---------	-----	---------

(2) 13年度の「上期」(13.04~13.09)と比較した、今後の売上額の見通しは、

13年度下期(13.10~14.03)		増加	横ばい	減少
14年度上期(14.04~14.09)		増加	横ばい	減少

2. 外注利用についての状況及び今後の見通しについてお聞かせください。

(1) 13年度の「上期」(13.04~13.09)と12年度の「下期」(12.10~13.03)の外注額を比較すると、

<対前期比>	増加(約 %)	横ばい	減少(約 %)
--------	---------	-----	---------

(2) 13年度の「上期」(13.04~13.09)と比較した、今後の外注額の見通しは、

13年度下期(13.10~14.03)		増加	横ばい	減少
14年度上期(14.04~14.09)		増加	横ばい	減少

3. 年間の総外注費及び京都府内の企業の割合についてお聞かせください。

年間総外注費	うち京都府内企業の割合及び企業数
約 億 万円	約 %・約

4. 外注企業に望む能力について(品質、コスト、納期)お聞かせください。

(1) 品質について、外注企業に望まれることは何ですか

- | | |
|-----------------|---------------------|
| ア. 要求以上の加工精度 | カ. 工程管理の強化 |
| イ. 要求どおりの加工精度 | キ. 検査体制の強化 |
| ウ. パラツキの無い品質安定度 | ク. VE/V A提案も含めた体制強化 |
| エ. 新鋭設備の導入 | ケ. ISOなどの導入 |
| オ. 職人(技術者)の育成 | |
| コ. その他(具体的に: |) |

裏面もご記入ください

財団法人 京都産業21

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町1-7(京都府産業プラザ内)

TEL(075)313 - 1 159 / FAX (07 5)321 - 5253

E mail : kikaku@ki21.jp

URL : <http://www.ki21.jp>